

プレスリリースについて

アジア先駆けの受託研究機関との共同研究

# バイエルクロップサイエンス、初期段階研究プロジェクトに関して GVK バイオサイエンスと協定提携

2009年11月24日-モンハイム/ハイデラバード：バイエルクロップサイエンスとインド・ハイデラバードのGVKバイオサイエンス有限会社（GVKバイオ）は、初期段階ディスカバリーケミストリーの共同研究を始めます。この共同研究の目的は画期的な植物保護製品を開発する有力な活性成分の発見促進です。バイエルクロップサイエンスが初期のディスカバリーケミストリーの段階で、GVKバイオの製造力を取り入れることで合意しました。

ハイデラバードで行われた調印式でのバイエルクロップサイエンスAlexander Klausener開発部長のコメント：「当社では効果ある植物保護研究開発パイプラインの開発を促進したく、アジア屈指の受託開発機関のGVKバイオとの共同研究に期待しています。初期のディスカバリーケミストリーにおける協力体制はバイエルクロップサイエンスの研究効果の拡大になると思います。また当社の急速に成長しているインドの科学環境への参入になると信じています。」



GVKバイオサイエンスManni Kantipudi社長のコメント：「GVKバイオサイエンスは初期段階のディスカバリーケミストリー分野において世界規模の性能を築き上げました。バイエルクロップサイエンスとのパートナーシップではバイエルクロップの成功を促進強化できるものと信じて

います。GVKバイオでは農作物研究に大きな関心を寄せています。バイエルクロップより信頼を得たことを光栄に受けとめ、もっとも画期的な農薬企業のひとつのバイエルクロップとの共同研究に期待しています。」

2008年には6億4千900万ユーロを研究開発に費やしたバイエルクロップサイエンスは、農産業における最も画期的な先端企業の一社です。2008年には殺虫剤スピロテトラマトと除草剤ピラスルホトールの発売が成功しました。2010年～2011年にかけて三種類の殺菌剤のフルオピラム、ビキサフェン、イソチアニルが発売予定です。さらに三種類の農薬が後期開発段階にあります。

### **バイエルクロップサイエンス：**

バイエルクロップサイエンスは、ヘルスケア、栄養、ハイテク製品分野に主に進出するグローバル企業です。年度売上高約64兆ユーロ（2008年）のバイエルホールディングAGの子会社のバイエルクロップサイエンスAGは、作物保護、非農有害生物防除、種子植物バイオテクノロジー分野に進出する世界屈指の作物研究企業です。傑出した製品領域と、近代的で持続性ある農業と非農環境に広範囲なサービス保障を提供しています。バイエルクロップサイエンスは世界120か国以上に1万8千人以上の社員を擁します。詳細は[www.press.bayercropscience.com](http://www.press.bayercropscience.com)をご覧ください。

### **GVK バイオ社**

GVK バイオサイエンス社（GVK バイオ）は、アジアにおける研究サービスの先駆け機関です。GVK バイオは研究開発バリューチェーンに圧倒的な範囲の総合的なサービスを提供します。当社の100社以上の多彩な顧客リストには、製薬大手企業、農業化学、ライフサイエンス企業および世界的に著名なバイオテクノロジーと学術機関があります。インド国内に5か所の研究所を擁するGVKバイオはハイデラバードに本拠を置き、1500人以上の社員が顧客企業の研究と成功の促進のサポートを行っています

### **お問い合わせ**



<p><b>Bayer CropScience AG Utz Klages,</b> <b>phone: +49 2173 38-3125</b> E-mail: <a href="mailto:utz.klages@bayercropscience.com">utz.klages@bayercropscience.com</a></p>	<p><b>GVK Biosciences 有限公司</b> <b>広報部 Sharada Alvakonda</b> <b>電話 : +91 40 66929999/8</b> Eメール : <a href="mailto:a@gvkbio.com">a@gvkbio.com</a></p>
--	---